

旧香流苑跡地土地利用サウンディング 結果概要

保存用

1 日時

令和 6 年 9 月 3 0 日（月）から 1 1 月 2 9 日（金）まで

2 参加事業者（参加数は非公開） ※ 商業事業者、工業事業者の参加はなし
マンション事業者（複数）、開発デベロッパー（複数）、医療事業者等

3 事業者の主な意見

(1) 用途、立地、接道等について

- ・ 藤が丘駅から徒歩 15 分の立地、面積からマンション用地として魅力的。戸建て住宅は、道路築造が必要となるため、採算が合わない。
- ・ 浸水想定区域の指定（1～3 m）が、懸念される。
- ・ マンション、医療施設、高齢者施設、小規模商業施設の併設や一体複合施設の可能性も考えられる。
- ・ 敷地内の井戸は、有効活用できないので、除外か閉塞を希望する。
- ・ 井戸を緑地範囲に含め 2 方向道路付(北・東)敷地とした方が、設計自由度があがる。

(2) 産業廃棄物、樹木等の扱いについて

- ・ 売却地内の産業廃棄物は、全撤去を希望する。
- ・ 売却敷地内の高木（15～20m）は管理困難である。特に、北側中央部の高木は設計上の支障となるため、撤去を希望する。
- ・ 公募時に存置とされた樹木については、できる限り活用方法を考えていく。
- ・ 環境配慮、樹木保存等を希望する地域の意見は、理解している。歩道に隣接する売却エリアの一部を再生緑地等として地域開放する事も検討可能である。

(3) その他

- ・ 想定される購入単価は未定。設計前であり、試算していない。
- ・ 緑地保存など公募条件が付されるほど、購入単価は下落することになる。

4 まとめ

- ・ 旧香流苑跡地は、マンション等の用地としてのポテンシャルを有している。